

とどくんです

2012年度 特別勘定の現況

●投資環境(2012年度)

日本株式市場 日経平均株価は期初10,161円で始まりました。中国の経済成長鈍化への懸念や米国の経済指標の悪化などによる世界景気減速懸念等から同株価は下落傾向を示しました。また、欧州債務問題の再燃等により株価下落に拍車がかかり、6月に日経平均株価は当期最安値となる8,238円まで下落しました。その後一進一退のもみあいの展開がしばらく続きましたが、11月に衆議院が解散され、12月の総選挙で自民党が圧勝すると、安倍政権が日銀に無制限の金融緩和を求める姿勢を明確にしたこと等から急ピッチに円安が進行しました。更にその他同政権による機動的な財政政策や成長戦略など矢継ぎ早の政策発動を示唆したこと等を受け、政策への信頼感や企業業績の改善期待等から3月まで同株価は上昇傾向を示しました。3月に日経平均株価は当期最高値となる12,650円まで上昇し、期末は12,397円で終了しました。

外国株式市場 期初、S&P500は1,408.47、FTSE100は5,768.45で始まりました。くすぶる欧州債務問題の再燃でリスク回避の動きから株価は軟調に推移し、6月にはS&P500は1,266.74、FTSE100は5,229.76の当期最安値をつけましたが、7月のドラギ欧州中央銀行総裁の「ユーロ圏の安定のためにあらゆる手段を講ずる用意がある」との発言を契機として、また米連邦準備制度理事会による量的緩和への期待等を背景として、リスク資産を嗜好する動きが強まり、株価はその後年度末に向け緩やかな上昇傾向を示しました。3月にはS&P500が2007年以来的の史上最高値更新となる1,570.28を付け、FTSE100は6,533.99の当期最高値をつけるなど株価は堅調に推移し、期末は若干値を戻しS&P500が1,569.19、FTSE100は6,411.74で終了しました。

日本債券市場 10年国債利回りは期初1.01%で始まり、長期化する円高・デフレや日銀の追加緩和期待等により7月に同利回りは0.7%程度まで低下しました。その後一進一退のもみあいがしばらく続きましたが、白川日銀総裁の後任となる黒田新総裁が、2%の物価安定目標を達成するためにマネタリーベースと長期国債・上場投資信託の保有額を2年間で2倍に拡大することや長期国債買入れの平均残存期間を2倍以上に延長することなど、大胆な金融緩和策を打ち出すと、このいわゆる「異次元緩和」への期待感から同利回りは低下傾向を示し、3月には0.51%まで低下しました。期末は若干上昇して10年国債利回りは0.55%で終了しました。

外国債券市場 期初、米国10年国債利回りは2.22%、ドイツ10年国債利回りは1.84%で始まりました。深刻化する欧州債務問題への懸念を背景に、相対的に高い信用力を持つ米国やドイツの国債が選好された結果、7月に米国10年国債利回りは1.37%、ドイツ10年国債利回りは1.12%まで低下しました。1月に公表された米連邦公開市場委員会議事録で、一部のメンバーが2013年中の国債購入終了の可能性に言及したことが判明したこと等により、米国10年国債利回りが一時上昇しましたが、その後一進一退のもみあいの展開となり、期末には米国10年国債利回りは1.84%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で終了しました。

外国為替市場 米国の長期金利の低下や欧州債務問題により、円は逃避通貨として選択されたことから、対米ドルのみならず、ユーロに対しても円高傾向を示しました。9月には米連邦準備制度理事会が導入を決定した量的緩和第三弾を受け、対ドルで円は当期最高値の1米ドル=77.13円まで上昇しました。欧州債務問題の南欧への波及からユーロは下落を続け、7月には2000年以来的のユーロ安・円高水準となる1ユーロ=94.11円を付けました。その後は、日銀の大胆な金融緩和への期待や燃料輸入の増加の影響等で拡大する日本の貿易赤字等を背景に期末にかけて円安傾向となり、期末には1米ドル=94.22円、1ユーロ=120.78円で終了しました。

●特別勘定の運用方針

- | | |
|-------------|--|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2012年度決算(決算日:2013年3月31日)を行いました。当資料は2012年度の運用状況をご報告するものです。
(3ページ以降は特別勘定レポート(2013年4月発行(2013年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。)



●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス40R	世界バランス50R
現預金・コールローン	434	54
有価証券	56,874	8,804
公社債	-	-
株式	-	-
外国証券	-	-
公社債	-	-
株式等	-	-
その他の証券	56,874	8,804
貸付金	-	-
その他	651	115
貸倒引当金	-	-
合計	57,960	8,973

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス40R	世界バランス50R
利息配当金等収入	329	59
有価証券売却益	-	-
有価証券償還益	-	-
有価証券評価益	9,678	1,612
為替差益	-	-
金融派生商品収益	-	-
その他の収益	-	-
有価証券売却損	712	142
有価証券償還損	-	-
有価証券評価損	986	161
為替差損	-	-
金融派生商品費用	-	-
その他の費用及び損失	-	-
収支差額	8,309	1,367

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス40R	SG日本株式インデックスVAT*	3,265,711	1,560,000	5,085,344	3,385,581
	SG日本債券インデックスVAT*	2,572,700	2,957,500	1,554,429	1,644,012
	CA外国株式ファンドVAT*	1,225,653	931,600	2,658,572	2,165,940
	CA外国債券ファンドVAT*	838,283	851,300	1,575,311	1,637,159
世界バランス50R	SG日本株式インデックスVAT*	487,254	233,500	832,493	568,371
	SG日本債券インデックスVAT*	399,288	458,100	314,445	333,958
	CA外国株式ファンドVAT*	253,643	192,700	635,488	532,427
	CA外国債券ファンドVAT*	111,193	114,200	212,090	219,406

※単位未満切捨て

*適格機関投資家限定

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険GF とどくんです	17,234	73,331

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用状況(2012年度末)

特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率



ユニットプライス 2013年3月末現在	88.77
------------------------	-------

ユニットプライス 2013年3月末現在	88.29
------------------------	-------

期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年
	2.66%	9.41%	19.52%	13.75%

期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年
	2.93%	10.41%	20.52%	14.87%

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
 ※ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

特別勘定の内容

目標値110%または120%の場合の特別勘定

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用 (年率) ^(注)
総合型	世界バランス40R	SG日本株式インデックスVAT*	アムンディ・ジャパン	0.315% (税抜0.300%)程度
		SG日本債券インデックスVAT*		
		CA外国株式ファンドVAT*		
		CA外国債券ファンドVAT*		

*適格機関投資家限定

目標値130%または140%の場合の特別勘定

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用 (年率) ^(注)
総合型	世界バランス50R	SG日本株式インデックスVAT*	アムンディ・ジャパン	0.315% (税抜0.300%)程度
		SG日本債券インデックスVAT*		
		CA外国株式ファンドVAT*		
		CA外国債券ファンドVAT*		

*適格機関投資家限定

(注) 資産運用関係費用は、主な投資対象とする投資信託の信託報酬率を基本配分比率で加重平均した概算値です。主な投資対象とする投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価額の変動等に伴う実際の配分比率の変動により、資産運用関係費用も若干変動します。

その他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。

なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

特別勘定の名称	運用方針
世界バランス40R	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券(短期金融資産を含む)30%、外国債券30%です。
世界バランス50R	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式30%、日本債券(短期金融資産を含む)30%、外国債券20%です。

特別勘定の運用状況

2013年3月末現在

●特別勘定 純資産総額の内訳

特別勘定の名称	運用資産				投資対象となる投資信託	運用会社	資産配分		純資産総額 (百万円)
	株式		債券				資産額 (百万円)	配分 (%)	
	日本	外国	日本	外国					
世界バランス40R	●				SG日本株式インデックスVAT*	アムンディ・ジャパン	11,485	19.8%	57,960
			●		SG日本債券インデックスVAT*		16,506	28.5%	
		●			CA外国株式ファンドVAT*		11,619	20.0%	
				●	CA外国債券ファンドVAT*		17,262	29.8%	
					現預金その他		—	1,086	
世界バランス50R	●				SG日本株式インデックスVAT*	アムンディ・ジャパン	1,778	19.8%	8,973
			●		SG日本債券インデックスVAT*		2,513	28.0%	
		●			CA外国株式ファンドVAT*		2,716	30.3%	
				●	CA外国債券ファンドVAT*		1,794	20.0%	
					現預金その他		—	169	

*適格機関投資家限定

【特別勘定名】

世界バランス40R

世界バランス50R

【特別勘定が利用するファンド名：日本株式】

SG 日本株式インデックスVAT(適格機関投資家限定)

- ◆とどくんです(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ◆当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ◆特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ◆当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ◆当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ◆当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

- 組入れ投資信託名： SG 日本株式インデックスVAT(適格機関投資家限定)
- 投資信託委託会社： アムンディ・ジャパン株式会社
- 組入れ投資信託の運用方針： 東証株価指数(TOPIX)の動きに連動する投資成果を目標とします。
- 主要投資対象： りそな・日本株式インデックス・マザーファンド受益証券(以下、マザーファンド)
- ベンチマーク： 東証株価指数(TOPIX)

■基準価額、純資産総額

基準価額	6,728 円
純資産総額	13,264 百万円

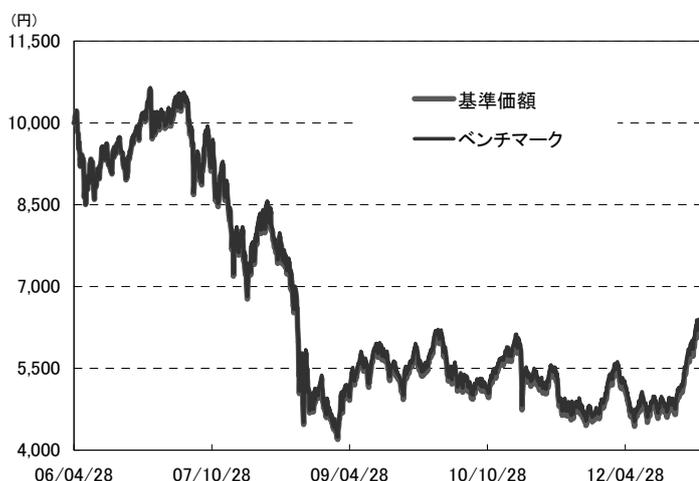
■資産構成

	比率(%)
実質組入比率	99.9
内現物等組入比率	98.4
内先物等組入比率	1.6
現金等比率	0.1

■騰落率(税引前分配金込み、%)

	直近1カ月	直近6カ月
当ファンド	7.00	41.55
ベンチマーク	6.99	41.77

■基準価額とベンチマークの推移グラフ



※ベンチマークは、上記グラフ上、東証株価指数(TOPIX、配当込み)で設定日を10,000として指数化しております(設定日：2006年4月28日)。
基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1,618銘柄)

NO	銘柄名	業種名	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.29
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.87
3	本田技研工業	輸送用機器	2.06
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.94
5	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.74
6	キャノン	電気機器	1.45
7	ソフトバンク	情報・通信業	1.42
8	武田薬品工業	医薬品	1.36
9	日本たばこ産業	食料品	1.28
10	三菱地所	不動産業	1.23

※組入上位10銘柄、組入上位10業種はマザーファンドについて記載。
組入上位10銘柄の比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合。
組入上位10業種の比率はマザーファンドの国内株式評価総額に対する割合。

注)東証株価指数(TOPIX)は、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄の株価を、それぞれの上場株式数で加重平均した指数です。新規上場銘柄や有償増資などに対しては、修正を加えることで指数の連続性を維持しています。東証株価指数(TOPIX)は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止又はTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行なう権利を有しています。

■組入上位10業種

NO	業種名	比率(%)
1	電気機器	11.44
2	輸送用機器	11.15
3	銀行業	10.77
4	情報・通信業	6.13
5	化学	5.63
6	医薬品	5.15
7	機械	5.08
8	卸売業	4.89
9	小売業	4.42
10	陸運業	4.41

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】

世界バランス40R

世界バランス50R

【特別勘定が利用するファンド名：日本債券】

SG 日本債券インデックスVAT(適格機関投資家限定)

- ◆とどくんです(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ◆当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ◆特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ◆当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ◆当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ◆当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

- 組入れ投資信託名： SG 日本債券インデックスVAT(適格機関投資家限定)
- 投資信託委託会社： アムンディ・ジャパン株式会社
- 組入れ投資信託の運用方針： NOMURA-BPI(総合)の動きに連動する投資成果を目標とします。
- 主要投資対象： りそな・日本債券インデックス・マザーファンド受益証券(以下、マザーファンド)
- ベンチマーク： NOMURA-BPI(総合)

■基準価額、純資産総額

基準価額	11,708 円
純資産総額	19,021 百万円

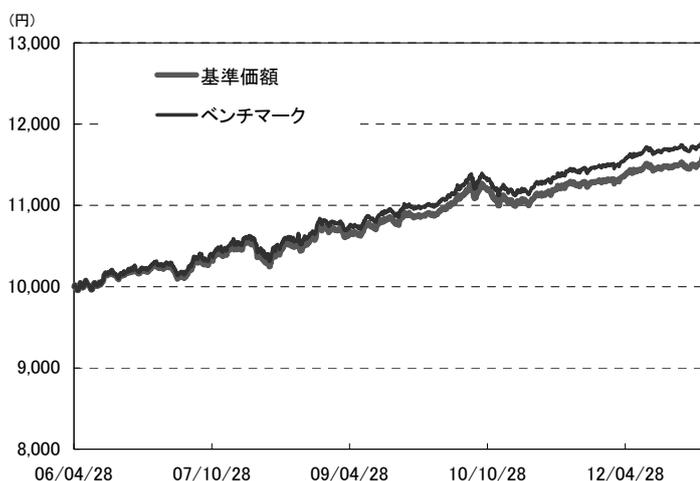
■資産構成

	比率(%)
実質組入比率	99.6
内現物等組入比率	99.6
内先物等組入比率	0.0
現金等比率	0.4

■騰落率(税引前分配金込み、%)

	直近1カ月	直近6カ月
当ファンド	1.08	1.99
ベンチマーク	1.08	2.12

■基準価額とベンチマークの推移グラフ



※ベンチマークは、NOMURA-BPI(総合)で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております(設定日：2006年4月28日)。
基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：134銘柄)

NO	銘柄名	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第320回利付国債(10年)	1.000	2021/12/20	2.35
2	第305回利付国債(10年)	1.300	2019/12/20	2.22
3	第102回利付国債(5年)	0.300	2016/12/20	2.00
4	第326回利付国債(10年)	0.700	2022/12/20	1.80
5	第313回利付国債(10年)	1.300	2021/3/20	1.77
6	第312回利付国債(10年)	1.200	2020/12/20	1.75
7	第321回利付国債(10年)	1.000	2022/3/20	1.68
8	第299回利付国債(10年)	1.300	2019/3/20	1.67
9	第325回利付国債(10年)	0.800	2022/9/20	1.65
10	第270回利付国債(10年)	1.300	2015/6/20	1.57

※組入上位10銘柄、債券種別比率はマザーファンドについて記載。
組入上位10銘柄の比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合。

注)NOMURA-BPI(総合)とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債、円建外債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されています。
NOMURA-BPI(総合)は野村証券株式会社の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、野村証券株式会社が有しております。野村証券株式会社は、NOMURA-BPI(総合)の算出もしくは公表の方法の変更、NOMURA-BPI(総合)の算出もしくは公表の停止またはNOMURA-BPI(総合)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しております。

■債券種別比率

種別	比率(%)
国債	78.13
地方債	6.59
政保・特殊債	4.96
金融債	1.28
事業債等	9.04

※合計値は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

■ポートフォリオの状況

平均複利利回り(%)	0.50
平均クーポン(%)	1.41
平均残存年数(年)	8.32
修正デュレーション(年)	7.55

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】 世界バランス40R 世界バランス50R	【特別勘定が利用するファンド名：外国株式】 CA外国株式ファンドVAT(適格機関投資家限定)
---	--

・とどくんです(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

- **組入れ投資信託名：** CA外国株式ファンドVAT(適格機関投資家限定)
■ **投資信託委託会社：** アムンディ・ジャパン株式会社
■ **組入投資信託の運用方針：** ① CA外国株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます)を主要投資対象とし、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
② CA外国株式マザーファンドは、日本を除く世界の主要国の株式を主要投資対象とします。
③ CA外国株式マザーファンドの組入比率は、原則として高位を維持します。
④ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、エクスポージャーの調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。
■ **ベンチマーク：** MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)

■ **基準価額、純資産総額**

基準価額(円)	10,421
純資産総額(百万円)	15,430

■ **資産構成**

実質株式組入比率	99.99%
内現物等組入比率	97.43%
内先物等組入比率	2.56%
現金等比率	2.57%

■ **騰落率(税引前分配金込み)**

	直近1ヵ月	直近6ヵ月	1年
当ファンド	3.97%	31.96%	28.91%
ベンチマーク	4.11%	32.18%	29.15%
超過収益	-0.14%	-0.22%	-0.24%

■ **基準価額の推移グラフ(税引前分配金込み)**

※ベンチマークはMSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)で、上記グラフ設定日を10,000として指数化しております(設定日:2006年4月28日)。MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)とは、MSCI Inc.が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標で、その著作権はMSCI Inc.に帰属しております。円換算ベースとは、ドルベースの指数を円換算したものです。MSCI Inc.は、当ファンドの運用成績等に関し、何ら責任を負うものではありません。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

■ **組入上位10銘柄等 ※**■ **組入上位10銘柄**

No	銘柄	国名	業種	比率
1	APPLE	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.64%
2	EXXON MOBIL	アメリカ	エネルギー	1.63%
3	GENERAL ELECTRIC	アメリカ	資本財	0.97%
4	NESTLE	スイス	食品・飲料・タバコ	0.94%
5	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.90%
6	CHEVRON	アメリカ	エネルギー	0.88%
7	IBM	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.88%
8	MICROSOFT	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.86%
9	PFIZER	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.85%
10	AT&T	アメリカ	電気通信サービス	0.85%
組入全銘柄数: 1,147銘柄			上位10銘柄合計	10.40%

■ **組入上位10カ国 ***

No	国名	比率
1	アメリカ	57.54%
2	イギリス	9.77%
3	カナダ	4.81%
4	スイス	4.09%
5	オーストラリア	4.07%
6	フランス	4.06%
7	ドイツ	3.75%
8	スウェーデン	1.44%
9	香港	1.44%
10	スペイン	1.22%

■ **組入上位10業種**

No	業種名	比率
1	エネルギー	10.60%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.57%
3	銀行	7.55%
4	資本財	7.26%
5	食品・飲料・タバコ	6.92%
6	ソフトウェア・サービス	6.17%
7	素材	6.08%
8	各種金融	4.88%
9	保険	4.38%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.92%

※組入上位10銘柄・組入上位10カ国・組入上位10業種はマザーファンド(CA外国株式マザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。
*国別配分はMSCI分類に基づき表示しております。

(注) 当資料は信頼できると思われる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】 世界バランス40R 世界バランス50R	【特別勘定が利用するファンド名：外国債券】 CA外国債券ファンドVAT(適格機関投資家限定)
<p>・とどくです(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。</p> <p>・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。</p> <p>・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。</p> <p>・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。</p> <p>・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。</p> <p>・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。</p>	

■ 組入れ投資信託名： CA外国債券ファンドVAT(適格機関投資家限定)

■ 投資信託委託会社： アムンディ・ジャパン株式会社

■ 組入投資信託の運用方針： ① CA外国債券マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます)を主要投資対象とし、ベンチマーク(シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行います。

② CA外国債券マザーファンドは、日本を除く世界の主要国の公社債(国債等)を主要投資対象とします。

③ CA外国債券マザーファンドの組入比率は、原則として高位を維持します。

④ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、エクスポージャーの調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。

■ ベンチマーク： シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

■ 基準価額、純資産総額

基準価額(円)	11,533
純資産総額(百万円)	30,128

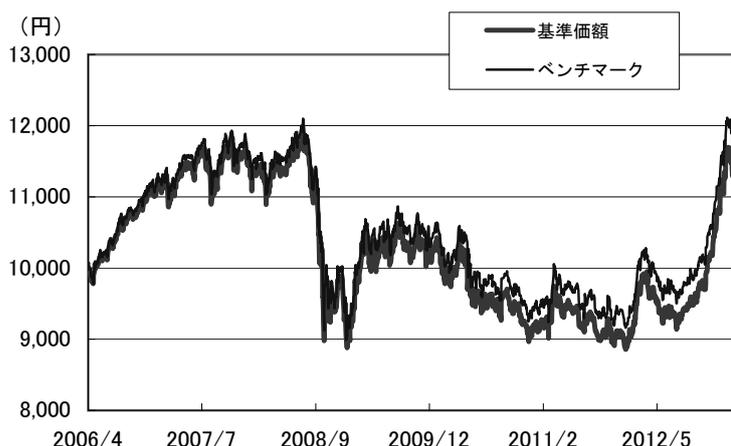
■ 資産構成

実質債券組入比率	99.01%
内現物等組入比率	97.96%
内先物等組入比率	1.05%
現金等比率	2.04%

■ 騰落率(税引前分配金込み)

	直近1カ月	直近6カ月	1年
当ファンド	1.25%	21.54%	17.30%
ベンチマーク	2.44%	21.92%	18.09%
超過収益	-1.19%	-0.38%	-0.79%

■ 基準価額の推移グラフ(税引前分配金込み)



※ベンチマークはシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)で、上記グラフ設定日を10,000として指数化しております(設定日:2006年4月28日)。シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券インデックスです。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

■ 組入上位10銘柄等 ※

組入上位10銘柄

No	銘柄	利率	償還日	通貨	比率
1	米国国債	5.125%	2016/5/15	米ドル	10.81%
2	米国国債	4.250%	2014/11/15	米ドル	6.80%
3	米国国債	3.125%	2021/5/15	米ドル	5.32%
4	米国国債	2.250%	2015/1/31	米ドル	5.10%
5	米国国債	4.500%	2039/8/15	米ドル	4.63%
6	米国国債	3.500%	2018/2/15	米ドル	4.52%
7	フランス国債	2.500%	2015/1/15	ユーロ	2.77%
8	フランス国債	3.750%	2019/10/25	ユーロ	2.26%
9	イギリス国債	4.000%	2016/9/7	英ポンド	1.63%
10	フランス国債	4.250%	2017/10/25	ユーロ	1.61%
組入全銘柄数: 107銘柄				上位10銘柄合計	45.46%

通貨別比率(組入上位5通貨)

No	通貨	比率
1	ユーロ	40.22%
2	米ドル	40.04%
3	英ポンド	7.07%
4	カナダドル	2.71%
5	豪ドル	1.88%

ポートフォリオの状況

平均複利回り(%)	1.63
平均クーポン(%)	4.18
平均残存期間(年)	7.70
修正デュレーション(年)	6.03

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド(CA外国債券マザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

注) 当資料は信頼できると思われる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ご 注 意 い た だ き た い 事 項

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計となります（ただし、目標値の変更により積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には、別途「積立金移転費用」がかかりますのでご注意ください）。

	項目	内容	費用	備考(適用時期等)
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の 4%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用(保険契約管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して年率 2.55%	特別勘定の純資産総額に対して年率2.55%/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用*(資産運用管理費)	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率 0.315% 程度(税抜 年率0.3%程度)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率0.315%程度/365日を乗じた額を毎日控除します。
	積立金移転費用	1保険年度に12回を超える積立金の移転の際	1保険年度13回以上の移転の際:一回につき 1,000円 (税込)	移転時に積立金から控除します。
年金支払期間中	保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	支払年金額に対して 1%	年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除します。

* 資産運用関係費用は、主な投資対象とする投資信託の信託報酬率を基本配分比率で加重平均した概算値です。主な投資対象とする投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価額の変動等に伴う実際の配分比率の変動により、資産運用関係費用も若干変動します。
 その他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。
 なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品をご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動(増減)につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。
 また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。
 また、目標値の変更により積立金の移転が生じた際には、特別勘定の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- 「とどくんです(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「とどくんです(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金(年金支払期間15年)のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社
 〒167-0043
 東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー
 TEL 03-6383-6811(大代表)
 ホームページ <http://www.tmn-financial.co.jp>

**ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは
 0120-155-730**

受付時間 月～金/9:00～17:00
 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)